



元



覃

陽



そん



かんとう



もつ



てし、

「史記」燕召公世家によると、周の成王の時、召公が国を治め、巡行した時、棠樹の下で獄政を決裁したが失職する者がなかった。召公が亡くなった時、民はその政を思い棠樹を懐い、歌詠して甘棠の詩を作ったという。